

COC新聞

COCで活躍が一番期待されるのは学生。今号は今年度後期の活動に光をあてた特集

地域で 生きて勉強しています。

〈まち歩きガイド〉視察 観光



岩手県田野畑 県弘前市「路山遺跡、青森地裏探偵団」を学ぶため、昨年秋に学生3人と指導教員が研究視察した。三内丸

観 光ガイド事業の先進地の実際と事業を立ち上げる際の地域との調整やマーケティング面

口にも出して

行動にも移して

①地元の話聞くことが出来ること、自分だけではできない体験や発見ができる

村の「体験村たのはたネットワーク」で学んで来た。「ガイドの意義」では、



映像

稚内とつながるドキュメンタリー 作品の制作



授業の一環で、昨年の10月から

昨 年5月の市民音楽活動「第九合唱団」を稚内市教育委員会の依頼で映像化。一昨年の豊富温泉を舞台にした『温泉街に、あかりをつけて』に続き、今回の『感動がひとを動かす』市民第九

樺 太と太平洋戦争を題材に4人の学生が製作中だったドキュメンタ

僕たちも この街の 主人公



合唱団の軌跡も、昨秋の「地方の時代」映像祭で受賞(奨励賞)。半年に及ぶ学生たちの努力の結晶だ。

まちラボ無料塾 豊富町教育支援



豊 富町の小学生54人が参加した地域教育支援活動「ウィンター・チャレンジ」(町教委主催)。今月13日から3日間実施。一昨年の利尻、昨年の豊富に続いて。今回は、豊富高のボランティア生徒と一緒に。宗谷の町村から学ぶの大事だ。

1年以上かけて。樺太から引き揚げた方々を取材し、戦後70年の昨年、サハリン(旧樺太)に渡り映像に。2作品とも本学のHPから視聴できる。



来てくれている。常連の「お客さん」も増えてきた。先日、「電子辞書の使い方」で分からないところを教えて欲しい」という方も。前期(5/9月)の市内4小学校の「放課後学力アップ講座」(稚内市教委主催)に続くボランティア活動だ。

まちなか 振興



中 央商店街を活性化させる。昨年末のイベントコンテスト(中央商店街振興組合主催)で「稚内一のコーヒ

学生は年末の街でも活躍した。「キタカラ」のクリスマスイベントでは大型絵本を使った読み聞かせや、トナカイやサンタにもなつて協力。



主催者の中央商店街振興組合から開催資金35万円が贈られる。最終選考に残ったDJやダンス体験のプランも同時実施できないう検討中だ。

「」を決める「わっかないコーヒーフェスティバル」(WCF)の企画案が選ばれた。左欄がそれだ。

地(知)の拠点



とは地域を志向した教育・研究・地域貢献を進める大学を文部科学省が5年間支援し、大学を地域コミュニティの中核に位置づけるのが目的です。「COC」とは「Center Of Community」の頭文字。今年3月で2年経過し4月から3年目に向かいます。

- 1月19日(火)15時半~17時「まちラボ無料塾」※1月はこの1回。2月から毎週。
- 1月23日(土)10時~10時半「まちラボパソコン講座」続きは同30日。
- 1月23日(土)14時~15時半「まちラボ中国語講座」。続きは同30日。
- 1月26日(火)「第4回地域活動報告会」
- 2月5日(金)第1期一般入試
- 3月5日(土)第2期一般入試
- 3月15日(火)卒業式
- 3月22日(火)第3期推薦入試

これからの 予定



ま ちラボを拠点に中央商店街の活性化をめざして結成されたサークル通称「たじじル」の活躍も注目される。

今年もよろしくお願いいいたします。